



5月のほけんだより



2025年5月1日発行
末長こぐま保育園
看護師



新緑の美しい5月。元気にあそぶ子どもたちの姿に、さわやかな風が吹き抜けます。ゴールデンウィークを楽しく過ごしたあとは、心身ともにちょっと不安定になることもありますね。ご家庭と連携をとりながら、お子さんのようすに気を配っていきたいと思います。

どうして起こるの？

熱中症

汗がかけなくなることで体温調節ができなくなるために起こります。気温 32℃以上、湿度 60%以上の環境で、十分な水分補給をしないで運動すると発症しやすいといわれます。さらに子どもは、大人よりも脱水症状を起こしやすいので、より注意が必要です。



予防接種は危険？

予防接種による副反応など弊害がクローズアップされ、不安になっているかたも多いようです。しかし、最近ワクチン自体の安全性も高まっており、副反応より予防接種を受けないで病気にかかった場合の後遺症や死亡の確率のほうがずっと高いと考えられています。

5月2日(金曜日) 健康診断を行います

0歳児・1歳児・2歳児・新入園児・前回欠席者が対象です。

結果はすこやか手帳に記録してお渡しします。確認後サインをしてお返却下さい。



接種後に気をつけることは？

子どもによっては、接種後に発熱や発しんなど副反応が起こることがあります。接種後しばらくは、子どものようすに気を配りましょう。副反応が出るのは、ワクチンの種類にもよりますが、遅くても2～4週間以内です。

つめを切って 清潔に



つめが伸びていると、つめと指の間にばい菌が繁殖しやすくなります。また、乳幼児のやわらかい肌を傷つける危険性もありますので、つめは、こまめに切るようにしましょう。ただし、深づめには要注意！ 切りすぎて肌を傷つけ、化膿してしまうこともあります。

アレルギーがあると、 受けられないの？

インフルエンザワクチンのウイルス培養には卵が使われます。卵にアレルギーがある人でも、重症でなければ接種してもだいじょうぶですが、予防接種のときは、必ず医師に相談しましょう。